

# 船舶事故調査報告書

平成21年10月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後藤 昇 弘  
 委員 楠 木 行 雄  
 委員 横 山 鐵 男（部会長）  
 委員 山 本 哲 也  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（死亡推定時刻は、平成21年1月14日 18時00分ごろであった。）
発生場所	不明（千葉県木更津市木更津港防波堤西灯台から真方位104° 2,600m付近（概位 北緯35° 22.3′ 東経139° 53.4′）の木更津港公共ふ頭G岸壁下の水域で船長の遺体及び本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年1月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <small>こよし</small> 小義丸、0.8トン 無登録、個人所有 FRP ガソリン機関、不明
乗組員等に関する情報	船長 男性 79歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年6月18日 免許証交付日 平成16年5月31日 (平成21年10月19日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船外機脱落
事故の経過	本船は、平成21年1月14日16時00分ごろ、船長1人が乗り組み、刺し網漁の目的で、木更津港新宿の係留地を出港し、同港内の漁場に向かった。 翌15日19時30分ごろ、船長の家族は、船長が漁に出たまま戻っていないので捜索してほしいと漁業協同組合に連絡した。 漁業協同組合は、海上保安庁等に通報し、海上保安庁、警察、同組合所属漁船等による捜索が行われた。 1月16日11時10分ごろ、捜索に加わっていた船長の家族等が、木更津港公共ふ頭G岸壁（棧橋形状）下の水域（岸壁前面から約10m内側）で、転覆している本船と浮いている船長の遺体を発見した。 船長の死因は、溺死と検案された。

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、気温 6～7℃、水温 約13℃ 海象：平穏、ほぼ高潮時</p>	
<p>その他の事項</p>	<p>船長の遺体発見時、上下防寒着を着ていたが、裸足であった。 また、遺体発見場所付近で網などの漁具及び長靴が発見された。</p>	
<p>分析</p>	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明 死因は溺死であった。 船長は、操業中、救命胴衣を着用せずに落水したため、溺水した可能性があると考えられる。 船長が落水した状況については、目撃者がいないことから、明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が木更津港公共ふ頭G岸壁下の水域において操業中、1人で乗り組んでいた船長が、救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。</p>	